

視察報告

北海道方面への学校視察について

岡山県高等学校商業教育協会
教育課題研究委員会

岡山県立倉敷商業高等学校 渡辺 賢一
岡山県立岡山南高等学校 赤岩 康弘

10月2日(木) 13:00～

北海道小樽商業高等学校 (北海道小樽市緑3丁目)
応対者 教頭 古市 俊章 先生
教務部長 高橋 陽 先生
進路指導部長 長澤 裕泰 先生
商業科長 奥原 祥 先生



[商業科・情報処理科]

1. 各校の特色ある商業教育について

○工夫されている授業や取り組み

- ・ケースメソッド 高大連携
- ・学校設定科目「観光一般」 2年生全員 2単位 地元を知るための地域学
“どのような町に住みたいか”を考える
- ・ “ ” 「隣国コミュニケーション」 3年生選択 2単位 人気の授業
中国語→韓国語 韓国語→中国語 (半年ずつ) 北海道には東南アジアの人が多い
外部講師を招いて実施している

2. 検定取得について

- 全商関係 3種目あまり多くない
- 国家資格等 部活動で対応



3. 進路状況や進路指導の取り組みについて

進学と就職が半々くらいである

就職については地元志向が強いが小樽、札幌の地元求人が少ない

求人開拓員(就職支援員・進路相談員)がいて就職について支援している

4. 部活動の取り組みについて

生徒が少なく(3クラス/学年) 部活の数も限りがある
地方大会には出ている部活が多くある

5. 特色ある学校行事等

地域ボランティア

「TEA CEREMONY」 外国人観光客を招き、お茶と琴演奏でおもてなし

「おたる潮まつり「潮ねりこみ」への参加」 地元祭りの踊り連に参加

「おたるしゃこ祭をプロデュース」 しゃこせんべい実演販売、シャコ学習会、缶バッチ製作

「音楽による交流」 各地域行事での演奏、琴演奏による“おもてなし”

「小樽雪あかりの路」 雪でオブジェを2会場に制作

6. 北海道の商業教育協会の活動について

北海道産業教育フェア（3年ごと）

北海道高等学校商業教育フェア（毎年） 北海道内商業関係の高校25校参加
2日間で14,000人

7. その他

- ・修学旅行 関西（京都、大阪）が多い、それ以外では関東、九州
- ・平成28年度より統廃合で2クラスとなる
- ・北海道では札幌市以外で生徒が減り、統廃合が進んでいる

10月2日（木）15:00～

小樽商科大学（北海道小樽市緑3丁目5番21号）

応対者 入試課長 小林 和宏 氏

〔経済学科・商学科・企業法学科・社会情報学科〕

○北海道内の生徒が95%

その内札幌市から60%の生徒が登校している
道外からの生徒に入学してほしい

○「No.1 グローカル大学」宣言

グローカル・マネジメント・プログラム → グローカル人材育成のための特別プログラム

○キャリアデザイン10年支援プログラム → 実業界に強い人材を育成する

○英語教育に力を入れている

○商科大学であるが、普通科を卒業した生徒が多い

○講義室や図書館などは、言語活動が充実できるように
設計され、使い勝手が良いよう工夫されている。

○活発な国際交流 → グローバル教育の実現

→ 交換留学制度・短期語学研修制度

○高大連携を実施



10月3日(金) 10:00～

北海道札幌東商業高等学校 (北海道札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6番10号)

応対者 副校長 相澤 英樹 先生
教頭 阿部 公明 先生
教務部長 藤田 先生
進路指導部長 宮崎 崇 先生
商業科長 奥原 祥 先生



[流通経済科・国際経済科・会計ビジネス科・情報処理科]

1. 各校の特色ある商業教育について

○グローバル教育の取り組み

○キャリア教育の取り組み

○工夫されている授業や取り組み

<高大連携> 前期：課題研究2時間+選択1時間

(大学に出向いて)

・札幌学院大学・・・英語学

・北海道情報大学・・・アドビ イラストレーターによるデザイン実習

・札幌大学・・・会計学

<デュアルシステム> 3年生6月に2週間実施

・会計ビジネス科 ⇒ 会計事務所(2社)

・情報処理科 ⇒ IT企業(1社)

・流通経済科 ⇒ 菓子販売業(1社)

<CD → 電子商取引> コンテンツ作成実習(6年継続)

*地域連携

・HTBの地デジ放送と連携し、地域の飲食店を紹介

<マルチメディア → 電子商取引> HP作成実習

*地域連携

・新札幌周辺の商店・商品を紹介 (学校HPからも見れる)

2. 検定取得について

○全商関係

・簿記2級、情報処理2級、珠算・電卓1級 1年生320名対象

・科目対応で任意受験

○日商関係

・日商簿記2級 会計ビジネス科 2年80名対象

・日商販売士3級 流通経済科 2年80名対象

○国家資格等

・基本情報技術者試験 情報処理科 3年4月・10月

・ITパスポート試験 情報処理科 2年7月～8月

・前景簿記上級・日商1級 会計ビジネス科 日商1級コース(A選・B選・課研)

3. 進路状況や進路指導の取り組みについて

○進学 200名くらい (60%)

25年度 国公立大学 4名 私立大学 60名

専門学校 75名

○就職 102名 (40%)

ほとんどが地元就職を希望する

4. 部活動の取り組みについて

インターハイ出場(バスケットボール部) 東北・北海道大会(ソフトボール部)

情報処理部(千葉大会) 珠算部(東京大会)

5. 北海道の商業教育協会の活動について

<北海道高等学校長協会商業部会> <http://syogyobukai.juno.weblife.me/index.html>

【生徒の活動】

- ・北海道高等学校商業教育フェア
 - (1) 自校開発商品及び地域特産品の販売
 - (2) 学校研究品発表会・商業教育PR（CM作品、学校紹介の放映）
 - (3) 学校・地域・商品のPRポスターの募集と展示
 - (4) 商業教育フェアポスター・キャッチフレーズの募集と作成
 - (5) 商業教育広報活動（学校案内の配布等）
 - (6) 見て、聞いて、触れて体験しよう！“君もChallenge！ビジネス教育！”
 - (7) 商業教育フェア実施広報
 - (8) 参加生徒交流会
- ・商業教育CMコンテスト
 - (1) PR CM ⇒ 地域の中학생や保護者に自校の校風や特色をPRするためのCM
 - (2) 公共マナーCM ⇒ 映画上映前に放映する公共マナーのCM
- ・北海道高等学校商業実務競技新人大会（11月）

【教員の研修】

- ・北海道高等学校商業教育研究集会（7月）
- ・北海道高等学校マーケ・ビジネス経済教育研究協議会（8月）
- ・北海道高等学校会計教育研究協議会（8月）
- ・北海道高等学校ビジネス情報教育研究協議会（8月）
- ・北海道高等学校教育研究会〔商業〕（1月）
- ・地区商業教育研究協議会〔石狩・道南・後志・空知・旭川・留萌・道北・オホーツク・日胆・十勝・根室・釧路〕
- ・調査研究協議会

【PR活動】

- ・PR誌
- ・北海道商業教育

6. その他

○10年程前に建て替えられ、とてもきれいな学校であった。エレベーターや1学年（8クラス）が入る講義室や情報教室があり、北海道の商業教育の拠点校として施設、設備が充実していた。

○中国人の商業教諭がいる。次の授業を担当し、生きた中国語を学ぶ。

「中韓ビジネスⅠ」	2単位	1年生	国際経済科	全員
「中韓ビジネスⅡ」	2単位	2年生	国際経済科	選択
「中韓ビジネス応用」	2単位	3年生	国際経済科	選択



10月3日(金) 14:00～

北海道札幌国際情報高等学校 (北海道札幌市北区新川717-1)

応対者 教頭 土屋 守穂 先生

情報システム科長 (商業科主任)

小林 勝巳 先生

流通サービス科長 山口 勉 先生

[普通科(普通)・国際文化科(外国語)・情報技術科(工業)・
情報システム科・流通サービス科(商業)]



1. 各校の特色ある商業教育について

○グローバル教育の取り組み

平成27年度より学科転換 → 「グローバルビジネス科」

○キャリア教育の取り組み

- ・進路指導部、学年による綿密な進路指導計画(進路ノートの活用)
- ・進学指導を中心に「なりたい自分」「10年後の私」等を指導

○工夫されている授業や取り組み

・流通サービス科

流通サービス科プレゼンコンテスト～授業発表会～

マーケティング(市場調査)、マルチメディア(パッケージデザイン)などの授業で取り組んだ内容

・英語教育の充実

教科「英語」関係科目は3年間で15単位

上記授業は All Englishで実施

2. 検定取得について

○全商関係 あまり積極的ではない

○日商関係 昨年、日商簿記2級を 名取得

○国家資格等 ITパスポート 多い年で1年生の半数取得 昨年 名取得

基本情報技術者 昨年 名取得

応用情報技術者 昨年 名取得

3. 進路状況や進路指導の取り組みについて

○進学 95%くらいが進学 稀であるが、浪人して難関校に挑戦している生徒もいる

国公立大学 16人程度(120人)

・主な大学

北海道大学 小樽商科大学 札幌市立大学 釧路公立大学 札幌医科大学

帯広畜産大学 はこだて未来大学 北海道教育大学(札幌、岩見沢、旭川、函館)

筑波大学 横浜国立 首都大学東京 鹿屋体育大学 高知大学

私立大学

早稲田大学 法政大学 立教大学 東京理科大学 青山学院大学

中央大学 東洋大学 専修大学 日本大学 東海大学 等

○就職 少人数である

公務員受験を指導している

* 今後は「進学型商業科」を前面に掲げ、実学から7カ年の継続教育を推し進め、他の商業高校との差別化を図るとともに、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成に努める本校の役割を、より強く打ち出したい。

4. 部活動の取り組みについて

- ・週に2回（火・木）が7時間授業のため、終業が4時を過ぎるため、活動時間が短い
- ・毎週土曜日午前中は、進学対応の希望者による講習（土曜日セミナー）である
- ・短時間集中型の活動である
- ・加入率80%弱
- ・商業系の部活動 → 商業研究部、パソコン部、ワープロ部
- ・全国レベルで実績のあるものは少ないが、道内においては強豪と例えられる部も多い

5. 特色ある学校行事等

各科でセミナーをしている

○「BUSINESS SEMINAR」

1泊で夕張に行き、研修と企業見学を合わせた内容のものを実施

主な内容

- ・グループ別研究
- ・ビジネス英会話
- ・講演会（マナー講座）
- ・交流会
- ・情報システム科 → EPSON
- ・流通サービス科 → キリン、岩塚製菓

○プレゼンコンテスト

6. その他

- ・「本校に来る生徒はとても優秀である。」「今のままの教育課程では生徒の3年間がもったいない。」「全国的にも珍しい普通科、工業科、商業科の併設校である。各科が特色を出しながら、学校全体の特色を出したい。」 ⇒ 生徒の能力を最大限に伸ばしたい ⇒ 進学率高い
- ・1年間はミックスHR（普通科、国際文化科、情報技術科、情報システム科、流通サービス科）
- ・2015年4月より
情報システム科・流通サービス科から学科転換 ⇒ グローバルビジネス科
 - ・進学型商業科
 - ・1年生で基礎を学び、2年生「情報」「会計」「国際」の3コース制になり専門性を高める
- ・センター試験受験者 50%

10月4日（土） 10:00～

北海道産業教育フェア

場所：札幌駅前通地下歩行空間 千・カ・ホ

3年に1度開催



参加した専門学科

商業 農業 工業 水産 家庭（福祉） 看護 総合

中央広場での各科各校の発表の様子

○作品・研究発表大会

○意見・体験発表大会

商業・・・販売、展示、演示

○販売・・・自校開発商品、地域特産物

担当校：北海道苫小牧総合経済高等学校

北海道千歳高等学校

北海道旭川商業高等学校

北海道函館商業高等学校

北海道留萌千望高等学校



○展示、演示

・学校紹介パネル展示

(商業に関する学科を設置する高等学校34校)

・学校紹介ビデオ放映(各校紹介、CMコンテスト)

・珠算・ワープロデモンストレーション

・パソコンで似顔絵・名刺作成

担当校：北海道札幌東商業高等学校

